

(6) 交換授業、合同授業、教科担任制、習熟度別指導等の多様な指導方法の活用

(7) 様々な体験的学習を取り入れた児童の主体性の育成

(8) 問題解決型学習、体験学習等の活用。思考力、判断力、表現力育成

- 「課題提示→課題把握→個人思考(主体的)→ペア・グループ学習(対話的)→情報提供・共有(全体)→個人再思考(深い学び)」

(9) 教師自身による自らの力量形成、指導力向上

- 校内外の研修、市教委研修、小教研、他校の研究発表等へ参加
- 教育関係者以外の人々との触れ合い、交流
- 研修により蓄積された知識・技能等を児童の指導に還元

(10) 地域の教材、人材の活用(英語活動・放課後算数教室・昔語り等)

- 恵まれた自然・文化・環境・人材等、地域の力の積極的活用

(11) 学級担任とALT(外国語指導助手)の連携による外国語活動の時間の充実

- 使用教材の工夫・整備。言語や文化の体験的理解
- 積極的なコミュニケーション力の育成

(12) 低学年からの英語活動の実施

- 英語の楽しさ、コミュニケーションの楽しさを知る
(低学年：年間4回程度実施)

(13) 「特別の教科 道徳」の授業構築

- 主体的に考え未来を切り拓く児童育成
- 児童の学習過程や成果等の記録(ファイル・道徳ノート)し評価

(14) 特別支援委員会、スクールカウンセラー、学校サポーター、スクールソーシャルワーカー学習ボランティア等を活用し指導の充実(スクールカウンセラーによる面談：4～6年生→100%)

(15) 組織的に取組む校内研究

- 研究授業を主とした実践的研究(研究授業：年4回実施)

(16) 児童と教師との信頼関係構築

- 年間授業日数確保、土曜日授業時間確保等。基礎・基本学力習熟
- 教師と児童が多く触れ合い、かかわり合う。信頼関係構築

(17) GIGAスクール構想の実現・充実

- 情報教育主任を中心。タブレットを活用した授業構築
- タブレット端末操作向上・日常的活用等。多様な学習活動

2 落ち着いた安心して学べる学校・・・B

(1) 一人一人の児童の頑張り努力を認める肯定的評価

- 「自分には良いところがある(自尊感情)」「自分は素晴らしい存在だ(自己有用感)」と肯定的な自己理解を導く
- 一層努力しようとする自己肯定感の育成
- 専科担当教員による通知表所見作成(児童：がんばり、課題)

(2) 互いに「認め合い」「高め合う」望ましい人間関係の育成

- 自尊感情や自己有用感、あこがれの気持ちを抱く活動を工夫(たてわり班活動：年5回以上実施)

(3) 児童のもっている力を最大限に発揮

- 一人一人の児童はかけがえのない存在。良さを認め、伸ばす。
- 児童のもつ様々な力を最大限に発揮

(4) 「児童と児童」「児童と先生」との豊かな人間関係の構築

- 様々な考えや行動を互いに認め励まし合う人間関係。信頼関係(児童アンケート：年3回実施)

(5) 安全な学校環境の構築

- 生命尊重を最優先。学校の安全性確保
(教職員による安全点検：毎月1回実施)

(6) 教育環境の整備

- 児童が気持ちよく安心して学習し生活できる学習環境の整備
- 人権を配慮した思いやりのある言葉遣い(児童・教職員)
(小中合同、児童代表委員会、たてわり班によるあいさつ運動：各学期1回以上実施)

(7) 児童の活躍の場、居場所の確保

- 自分の思い・願いが叶えられ安心できる学校生活
- 友達同士の温かい人間関係構築の支援

2 落ち着いた安心して学べる学校

●：成果 ▶：課題

【「認め合い」「高め合う」人間関係育成】

●「異年齢交流(たてわり班活動)」の取組
→高学年：自己肯定感やリーダーシップ能力育成。「頼りにされている」という自己有用感。
→低中学年にはフォローアップが芽生える機会。第七小学校の「特色ある教育活動」の一つ。有効な伝統的活動。

※(たてわり班活動5回以上実施)目標達成

●たてわり班活動(5・6年生：86→88%)**高評価**

●キャリア教育(保護者：90%→90%)**高評価**

【「仲良く遊ぶ友達がいる」肯定的評価】

●1～3年生(97%→98%)**高評価**

●4～6年生(98%→97%)**高評価**

【「困った時助けてくれたり、相談したりする人(大人)がいる」

●1～3年生(97.3%→98.7%)**高評価**

●4～6年生(98.1%→99.1%)**高評価**

→低中高とも高評価。家庭、地域、学校等様々な場所に相談できる大人がいる(機会に周知)。

【安全な学校環境】

●毎月1回安全点検実施。修理・改修箇所等は迅速・適切に対応・改善(修繕要望書記入(教職員)→管理職→事務職員・用務主事等対応)。
●毎月1回様々な場面を想定した避難訓練実施。児童の生命を第一に考えた対応。

●毎月の安全指導日は「オンライン配信」による映像を主に指導。八王子警察による不審者対応訓練・ロールプレイ(教員参加)。

【地域人材の活用】

●英語活動(3・4年生)の充実。外国語活動における地域人材の活用。

●放課後算数教室(全13回)、基礎的基本的学力の習熟。

●とんとん昔語りの会。地域人材の活用。第七小学校の伝統。

【教育環境の整備(挨拶・言葉遣い)】

【「友達や先生に挨拶できる」肯定的評価】

●1～3年生(94.1%→94.8%)**高評価**

●4～6年生(95.5%→96.5%)**高評価**

→全学年肯定的評価高。児童自身の自己肯定感高。児童代表委員会主体の小中合同挨拶運動実施(各学期1回実施：目標達成)。

【「友達をいじめることなく大切にしている」肯定的評価】

●1～3年生(97.0%→95.8%)**高評価**

●4～6年生(97.4%→96.5%)**高評価**

→子ども見守りシート活用、いじめの未然防止・予防・早期発見・早期解決の取組。児童アンケート(全学年)年3回実施。いつでも、誰にでも相談できる環境を整備。継続**目標達成**。

→「ふれあいメッセージ(いじめ防止宣言)」全校児童参加。校内掲示。児童の意識向上。

<成果・課題改善策>

●「友達をいじめることなく大切にしている」の肯定的評価は高評価維持。児童評価は全学年で100%が目標。「いじめは絶対に許さない」という強いメッセージを全校朝会、道徳授業、学級指導等を活用し今後も継続発信。

●いじめ未然防止・早期発見・早期対応等に向けスクールカウンセラー(SC)による全員面接を4年生から実施。全校児童の半数がSCとの面接経験済。いつでも、誰にでも相談しやすい大人確保。4～6年生全員面接(目標達成)。

(8) 近隣中学校と連携した小中一貫の生活指導推進

- 社会性・思いやりの心をはぐくむ指導の推進

(9) 保幼小連携の積極的取組

- 近隣の保育園・幼稚園等の教職員、園児との交流

(10) 第七小学校の「いじめ防止基本方針」に基づいた対応

- いじめは絶対に許さない取組推進。予防・早期発見・早期解決
(児童アンケート：年3回実施)
(いじめ対策委員会：毎週1回実施)

(11) その他(①～⑩を補完するもの)

- 基礎基本の徹底
- 失敗やつまずきを自ら克服。高まり頑張ろうとする挑戦意欲
- 他人に迷惑をかけない。他者への配慮

3 保護者、地域社会との連携・・・A

(1) 学校は地域のシンボル

- 地域と共に歩み、発展していく学校づくり推進
- 積極的な地域とかかわり、開かれた学校づくりを一層推進

(2) 学校から積極的情報発信による「開かれた学校」の推進

- 学校だより・ホームページ、学年・学級だより等による情報発信
(情報発信：ホームページ毎日更新)

(3) 保護者や地域社会からの応援を得る

- 保護者、地域の方々の教育活動への積極的参加を促す

(4) 教育活動改善に生かす学校評価(児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員・地域)実施 (学校評価：年2回実施)

(5) 小中一貫教育に向けた児童や教員の相互交流、教材研究、保護者への理解推進

(6) 学校施設の地域開放

(7) 近隣の保育園・幼稚園、小学校・中学校等との交流推進

- (小中一貫教育の日：年3回以上実施)
(児童の保幼小連携の日：年1回以上実施)

(8) 教職員のPTA、地域等の行事への積極的参加

- (教職員の地域行事への参加：年1回以上参加)

(9) 交流及び共同学習や近隣特別支援学校等との交流

- (第3・4・5・6学年：年1回以上)
(交流及び共同学習：さくら学級と通常の学級との交流)

4 信頼される学校づくりに向けて・・・A

(1) 教職員の協働体制、組織体としての機能の充実

- 校務分掌組織の活性化。「報告・連絡・相談・確認・記録」実施
- 「担当－主任－委員長－主任教諭－主幹教諭－副校長－校長」

(2) 主幹教諭、主任教諭を中心として校務分掌組織の活性化

(3) 学校不適応・問題行動等に組織的に迅速に対応

- 生活指導部、校内支援委員会、いじめ対策委員会、特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー、関係諸機関(巡回相談)・スクールソーシャルワーカー等と連携

(4) 配慮を要する児童への適切な支援

(5) 教員の指導力向上・人材育成

- 計画的な人材育成(若手教員)
(ちよこっとOJT：一人1回以上実施)

(6) 人権尊重の精神をもとにした指導

- いじめや差別は絶対に許さない指導。予防、早期発見、早期解決
- 学年・生活指導部を中心にSC等と連携した組織的な取組
(児童アンケート：年3回実施)

(7) 道徳教育の充実

- 保護者、地域社会と連携した道徳授業地区公開講座の充実
(道徳授業地区公開講座：全学級授業公開)

(8) 週ごとの指導計画の作成

- 意図的・計画的な学習活動の確認と展開。授業時数の確実な確保
(週ごとの指導計画：100%提出)

3 保護者、地域社会との連携

●：成果 ▲：課題

【学校からの積極的情報発信による

『開かれた学校』の推進』肯定的評価】

●保護者：情報提供(93%→96%)高評価
→肯定的評価高(継続)。ホームページ毎日更新、学校だより・学級だより・保健だより・地域運営学校だより等による最新の情報発信等、「開かれた学校づくり」を推進。目標達成

→Home&School、ホームページ等によるデータ配信(継続)。ペーパーレス、迅速・確実な情報発信。
→学校評価を年2回実施目標達成：回収率(30%→25%)詳細報告・丁寧回答。自由記述は全文掲載。誠意をもち迅速に対応・改善。
→学校行事、学校公開・授業参観等、全学校行事でアンケート実施。迅速報告。誠実対応。

【小中一貫教育の充実』肯定的評価】

●保護者(78%→86%)増加高評価

●5～6年生(59%→69%)大幅増達成

→挨拶運動、運動会、合唱コンクール、いじめ防止(はちおうじっ子サミット)、等、小中合同連携(1中3小)。

→校内研究主題「自己の学びを深める児童の育成～主体的に学び、豊かに関わり合う姿を通して～」。研究授業を主とした実践的研究(年4回研究授業)。

→小中一貫担当教員が定期的に情報交換・情報共有実施。児童・生徒の課題(学力・生活指導等)の明確化、課題解決方策・相互理解・今後の見通しを図る。

→小中一貫教育におけるキャリア教育の推進(防災を考える日・仮称)。

→学校だより・ホームページ等を活用し小中一貫教育の活動を積極的紹介。

→教育課程の編成(小中一貫の推進・充実)。

4 信頼される学校づくりに向けて

【教職員の協働体制の構築】

●「報告・連絡・相談・確認・記録」確実実施。主任や主幹等による確認。教職員同士で学び合い、高め合う体制の構築(OJT設定)。

【特別支援教育の充実】

●特別教育コーディネーター7名指名。定期的な会議開催。課題の迅速対応。

●支援の必要な児童への対応は組織的対応と共にSC・SSW・就学相談・医療機関・子ども家庭支援センター、児童相談所等との専門的機関との連携を図り対応。

●特別支援学級と通常の学級の交流及び共同学習(学校行事、学習等様々な場面で実施)。

●「地域で共に生きる仲間」の副籍交流。令和7年度は直接交流2名(3年生・4年生)。間接交流実施(学校だより配付・お手紙交流・作品交流)。特別支援学校との直接交流(3～6年生)。島田療育センターはちおうじとの交流(5年生)。交流を通し互いに支え合い、生きることの大切さ。地域の中に交流が広がり地域の仲間として交流が続くことを主眼とし計画・準備等を検討。

【意図的・計画的な学習活動の実施】

●ねらい、安全指導、準備等を詳細に記録。

●時数・指導内容・安全指導等の管理徹底。週の指導計画は全教員毎週提出。目標達成

<成果・課題改善策>

●保護者・地域等への周知徹底。地域運営学校だより、学校だより、ホームページ等にて、学校運営協議会の取組を紹介。「信頼される学校づくり」達成の手立てとして啓発・活用。

- (9) 服務事故ゼロの達成及び児童、保護者、地域からの信頼獲得
 - 教育公務員としての自覚。自らを律し、服務の厳正に努める
- (10) 個人情報管理、著作権の保護
 - (管理職・情報担当等、複数体制によるUSB・カメラ等点検)
- (11) 事案決定を確実な実施
 - 管理職の承認を得た文書のみ起案・提出
(事前確認：管理職・主幹教諭等による複数チェック)
- (12) 防災教育、学校防災の視点における避難訓練の工夫改善
 - (避難訓練：毎月実施。
様々な場面：実施時間、実施状況等を想定し実施)
- (13) 放課後子ども教室の充実
 - 児童の放課後の居場所を保障する
(原則：4日…月・火・木・金)
- (14) 信頼される学校づくりの推進
 - 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実・発展

今年度の取組目標と方策(目指す学校像)

<教育活動の目標と方策>

1 一人一人の児童を大切にできる学校・・・A

- ➔ 児童にとり、楽しく、魅力のある学校を創造するための方策
 - 児童のもつ力を最大限に発揮できる教育活動の推進
 - 友達に認められ、支えられ、励まし合える人間関係の確立
 - 友達や先生と触れ合い喜びを感じる教育活動の推進
 - 一人一人の児童の良さが発揮できる教育活動の推進
 - 確かな学力の獲得
 - 児童の考えや思いが大切にされる教育活動の推進
 - 自分の考えをもち、発表できる授業の工夫・創造
 - どの児童も進んで学習する授業の工夫・改善
 - 基礎的・基本的な学力を身に付け進んで学ぶ子の育成

2 学び合い、高め合うことができる学校・・・A

- ➔ 児童にとり「できる喜び」「分かる楽しさ」を味わえる学校
- ➔ 教職員にとり、明るく働き甲斐のある学校を創造するための方策
 - 互いを信頼し尊敬し合う温かい人間関係の醸成
 - 充実した研修による教職員の専門職としての力量の向上
 - 授業公開、互いに学び合う環境整備
(ちょこっとOJT研修：一人1回以上実施)
 - 学級担任や専科担当教諭の協力、充実した学年経営の推進
 - 交換授業、合同授業、一部教科担任制、副担任制、習熟度別指導等、多様な指導方法の積極的活用
 - 食育や健康安全教育による健康でたくましい心身の児童育成
(食育授業：担任・給食管理員等による指導を1回以上実施)
 - 体育・特別活動による体を動かす楽しさ・基礎的体力の育成
 - 「児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の分析(長縄フェスタ、走るんジャー、跳がんジャー、運動委員会：レンジャーランド)
 - 学校図書館や公立図書館等の施設を積極的活用
司書教諭、学校司書等と連携し児童の読書の質や量の向上

3 保護者、地域を大切にできる学校・・・A

- ➔ 保護者、地域に開かれた学校を創造するための方策
 - 学校・学級等の方針や取組様子・成果等を保護者に積極的広報
保護者や地域の意見・考えを学校の改善に生かす
 - 八王子市小中一貫教育の推進
 - 保護者の授業参観・授業参加を増やす広報・周知活動の充実
 - 学校の設備施設を地域に開放・提供
 - 地域にある文化や遺産等を教材化し地域に根差した教育の推進
 - 地域人材(ゲストティーチャー・講師等)の積極的活用
 - 保護者や地域の方への親身な対応
 - 地域の様々な資産を有効活用する。
 - コミュニティ・スクール(地域運営学校)としての取組周知

1 一人一人の児童を大切にできる学校

●：成果 ▲：課題

【授業が分かりやすい】肯定的評価

●4～6年生(88%→91%:肯定的評価増)成果

【学習活動に対する評価】肯定的評価

【分かりやすい授業】肯定的評価

●保護者：授業評価(84%→90%)高評価

【落ち着いて学習できる】肯定的評価

●5～6年生(88%→89%:肯定的評価増)成果

●保護者(89%→92%:肯定的評価増)成果

➔学校は児童が安心してできる場、たくさんの人とのかかわりを通して、児童が成長する場、一人一人が大事にされる学びの場。毎週金曜日の生活指導夕会、週1回いじめ対策委員会等を実施。全教職員で全校児童の情報提供・情報共有を図る。全教職員で全校児童を見守る。

2 学び合い、高め合うことができる学校

●校内研究・自主研修会(OJT等)の実施

➔ICT活用。タブレット型学習用端末活用(全校朝会、安全指導日：オンライン配信)。目標達成

➔英語活動(2年生)、外部指導英語(3・4年生)。

➔情報教育担当による新端末研修。

➔「ちょこっとOJT」教員育成、授業力・指導力向上取組(一人1回以上授業参観)。目標達成

➔年次研修での計画的授業参観。目標達成

●交換授業・教科担任制・合同授業等の実施

➔複数の教員が児童と関わる。新たな一面発見。学年団で見守る積極的な児童理解。

➔教科担任制導入。児童:86%・保護者:94%・教職員:85%。肯定的評価高

●食育授業の実施

【朝ご飯を食べて登校】肯定的評価

●1～3年生(96.4%→98.0%)高評価

●4～6年生(95.2%→92.7%)高評価

➔養護教諭の保健指導:オンライン(生活リズム、インフルエンザ・かぜ予防、不安と悩み等)。

➔給食配膳指導(適量、好き嫌い克服)。

➔八王子産の地場野菜・米等を給食食材として使用。給食メモを活用し児童に周知。地産地消の重要性を図る。目標達成

➔校長室会食(4～6年生・学級)・給食試食会(保護者対象)・おむすび大作戦(火・木実施)。

➔給食管理員による各教室給食指導見回り(毎日)。マナー指導・食育指導・児童理解等。児童の健康安全教育の充実を図る。目標達成

3 保護者、地域を大切にできる学校

●教育ボランティア(図書・英語活動・放課後算数教室・読み聞かせ・昔語りの会等)、安全ボランティア等、延べ約3800人と積極的連携。

●学校施設開放は約12500人使用(2月末)。月平均1000人超。地域に開かれた学校推進。

●学校評価アンケート:地域回収率(73%→56%)回収率高。直接地域へ配布。学校への関心・信頼高。積極的情報発信。地道な活動評価。毎朝、地域の方々と挨拶(通学路を見回る)。

4 組織体としての機能を充実する学校

●英語活動(2年生)、外部指導英語(3・4年生)。

●校内研究主題「自己の学びを深める児童の育成～主体的に学び、豊かに関わり合う姿を通して～」。実践的研究(年4回研究授業)。

●教科担任制(4～6年生)、算数科指導(習熟度・少人数展開数増)。学力向上。

●教育課程の編成。令和8年度小中一貫教育の充実(キャリア教育・小中合同)。部活動見学、運動会、合唱コンクール等へ参加。

4 組織体としての機能を充実する学校・・・A

→ 教職員の協働体制、組織体としての機能が活性化し充実している学校を創造するための方策

- 教職員が専門職として自覚をもち、互いに学び合い、高め合う
- 教職員の協働体制を確立し組織体としての機能発揮
- 八王子市の学校評価実施。全教職員が協力し学校改善に取組
(学校評価：年2回実施)
- 地域の方々や学校支援の方々と共に連携した学校の活性化
- 研究授業を主とした実践的な校内研究(年4回以上)
- 交換授業、合同授業、教科担任制の取組
(複数の目：児童理解、情報共有)

◎ 重点目標(健康で心豊かな子ども)の育成と方策・・・B

<進んで学ぶ子ども>・・・B

目標1 基礎的・基本的学力の定着

- 学年補佐、個別指導、補習等、指導の工夫改善等に取り組む

目標2 児童一人一人の課題の明確化・改善

- 各種学力調査分析。学校全体の課題と児童一人一人の課題の明確化
- 教育活動全体の中での取組(学校全体の課題の明確化・解決)
- はちおうじっ子ミニマム(基礎的・基本的学力習熟)。児童の学力向上

目標3 自尊感情を高める

- 計算力や漢字の定着を図る補充学習等の積極的取組
- 基礎的・基本的事項の習熟・繰り返し取り組む

目標4 ぐんぐんタイムの充実

- 東京ベーシックドリル・ミライシード等の計画的活用

目標5 七中学区「学習の3つの約束」

- 正しくイスに座る、しっかり話を聞く、チャイム着席を基本。
- 授業展開、ノート指導等、児童に分かりやすい授業展開

目標6 達成感・満足感・成就感の獲得

- 校長室検定の活用(都道府県検定・県庁所在地検定、九九検定)

<協力して責任を果たす子ども>・・・B

目標1 豊かな関わりの中における望ましい人間関係の構築

- 学習指導・生活指導・人権教育の充実、ともだち班(異学年交流)
- 道徳的な判断力や実践力の向上

目標2 人権尊重の精神の下、自然体験やボランティア体験等を取り入れた授業や資料・教材の活用

- 思いやりの心をもち、互いに励まし合い、助け合い、高め合える「思いやりがありやりぬく子」を育成

目標3 道徳授業の充実

- 児童一人一人の道徳的心情、判断力、実践意欲・態度を培う
- 全教育活動を通じた人間性豊かな児童の育成

目標4 小・中学校、家庭・地域が積極的にかわる児童の健全育成

- 道徳授業地区公開講座の開催・全学級授業公開

目標5 副籍交流、交流及び共同学習の推進

- 支援の必要な児童との「おたより交換」「給食や休み時間の交流」「授業や行事への参加」等の交流
- 相互に人格と個性を尊重し合うことができる心情や態度の育成

目標6 特別支援教育に関する理解・特別支援委員会の充実

- 環境整備・指導内容の検討
- 特別支援教室専門員との連携

<健康で心豊かな子ども>重点目標・・・B

目標1 七小レガシーの充実・発展

- レンジャーランド(運動委員会)・走るんジャー、長縄フェスタ
- 運動の楽しさ、基礎的な運動技能の向上

目標2 「明るく元気な学校」の雰囲気醸成

- 「あいさつ運動(年3回)の実施。気持ちをこめた挨拶習慣
- 小中合同、児童代表委員会、たてわり班活動による取組

【教育目標】「進んで学ぶ子ども」

●:成果 ▲:課題

【基礎的・基本的学力の獲得・習熟・繰り返し】

- ぐんぐんタイム充実(積み重ね・短時間集中)。
- 毎週火・木曜日:ぐんぐんタイム(漢字学習)。
- 全校朝会校長講話をメモ(令和8年度)。

【漢字検定(希望者のみ)】

- 「目標に向けて努力する」「自分自身へチャレンジする」。目標の明確化。
- 受験者 192名(受検率:約30%) →意欲高
- 合格率:92.2% →成果あり
- 10級(1年生相当):100%
- 9級(2年生相当):78.1%
- 8級(3年生相当):96.2%
- 7級(4年生相当):90.3%
- 6級(5年生相当):100%
- 5級(6年生相当):92.9%
- 4級(中学校在学相当):100%
- 3級(中学校卒業相当):100%

平均受検率
約30%

平均合格率
92.2%

→小学校6年生相当までの合格率高。成果

→児童の漢字の定着に有効。

【「家庭学習を進めていく」肯定的評価】

- 1～3年生(90.5% → 89.6%) 高評価
- ▲4～6年生(75.1% → 75.0%) 目標90%超課題
- 保護者(75.9% → 78%) 目標90%超課題

【放課後算数教室の設置・取組】

- 複数の大人(教員、地域)による指導(算数)。
- 3年生以上(希望者):全13回実施。

【自尊感情向上に関わる学習活動】

- 校長室検定(4年生:都道府県検定・県庁所在地検定、2年生:九九検定)。
- 「達成感・満足感・成就感」等の自尊感情向上。

<成果・課題改善策>

●日記指導・新聞作り・一言感想等、「書く力」の向上における日常的な取組。意欲の向上。

専科授業における「書く力」の育成・取組。

●東京都ベーシックドリル(TBD)・八王子ベーシックドリル(HBD)・ミライシード。朝学習・授業中・放課後、長期休業期間等を活用取組。

▲「課題把握・個人思考(主体的) → ペア学習・グループ学習(対話的) → 全体発表・情報共有 → 個人再思考(深い学び) → アクティブ・ラーニング手法を授業に導入。「深い学び」の獲得。

▲校長講話(全校朝会)を聞き文章化。書く力・聞く力・表現力の育成(令和8年度実施予定)。

【教育目標】「協力して責任を果たす子ども」

●:成果 ▲:改善

【望ましい人間関係構築・人権尊重等取組】

- 「いじめ防止」の取組:全校朝会、ふれあい月間の指導実施。ふれあい月間期間中に全学級で「いじめ防止授業(道徳等)」実施、各学期に「児童アンケート」実施、七小ふれあい月間(独自)実施、いじめの未然防止・予防・早期発見・早期解決の取組(年3回実施)。目標達成
- アンケート結果による聞き取り、情報収集を確実に実施。記録(担任・管理職等確認後に保存)。

→挨拶運動(児童代表委員主体、小中合同、たてわり班主体)、ふれあいメッセージ作成(いじめ撲滅宣言)等、活動取組工夫。

●道徳授業地区公開講座:全学年・学級公開授業実施(直接参観)。

→講演会(スクールカウンセラー)、グループワーク等、保護者同士の交流(高評価)。

目標3 保護者・地域・学校の交流の場設定

- 健全育成にかかわる課題を三者が協働して解決する意識
- 放課後子ども教室推進委員会、民生委員等との交流
- 食育・健康安全教育の推進。アレルギー対応等

目標4 異年齢交流の推進

- 多様な異年齢集団による活動。児童相互の望ましい関係構築
(異学年交流:たてわり班活動、清掃、遊び)

目標5 特別支援教育に関する理解促進

- 特別支援教育に携わる教員との連携
- 特別支援委員会の充実

目標6 いじめや不登校等の生活指導にかかわる課題の解決

- 個票システムやスクールカウンセラー等の活用
- 生活夕会:毎週金曜日の夕会時における情報提供・共有

目標7 いじめ未然防止、予防、早期発見、早期対応

- ふれあい月間における児童への「アンケート(いじめに関する内容)」の実施
- 児童が相談できる大人に関する調査、長期休業日開始前・終了前の児童の状況把握調査、Q-U、SCIによる全員面接のメモ・面接記録等の保管
- 「いじめ防止チェックシート」を活用(教職員へ配布)
(児童アンケート:年3回実施)

目標8 全教育活動を通じて実践する「思いやりがあり やりぬく子」の育成

- 全校朝会(命の大切を共に考える日)、学級指導、道徳授業、読み聞かせ(絵本等)等の活用
- 児童の心情に語りかける指導の実践。挨拶の励行

【教育目標】重点目標「健康で心豊かな子ども」1

●:成果 ▲:課題

【命の大切さを学ぶ】

- 「八王子市命の大切をともに考える日(令和7年6月2日・月全校朝会)。
→全校朝会(体育館)で学校長の講話。「いじめ根絶」「命の大切さ」「相談できる大人」「いじめは絶対に許さない」。「わたしの妹(絵本)」朗読。
→「子ども見守りシート」の活用。HPIにリンク。

【「いじめ防止への対応(学校)肯定的評価】

- 保護者(84%→90%:高評価)。**成果**
- 5~6年生(84%→86%:高評価)。**成果**
→「友達をいじめることなく大切にしている」肯定的評価(全校児童平均:97.2%→96.2%)。
- 1~3年生(97.0%→95.8%)**肯定的評価高**
- 4~6年生(97.4%→96.5%)**肯定的評価高**

<成果・改善策>

●令和7年度八王子市学校保健優良校受賞(2年連続受賞)。

●いじめ未然防止・早期発見・早期対応。スクールカウンセラー面接を4年生から実施継続。

●「いじめは絶対に許さない」という強いメッセージを全校朝会、道徳授業、学級指導等を活用し継続発信。

●児童が相談できる環境、専門機関等との連携推進。「相談できる大人」「いじめは絶対に許さない」継続取組。

【教育目標】重点目標「健康で心豊かな子ども」2

【「外で元気に遊ぶ」肯定的評価】

- 1~3年生(89.5%→90.8%)**高評価**
- ▲4~6年生(77.4%→77.2%)**課題**
→跳ぶんジャー、走るんジャー、レンジャーランド(運動委員会)等、日常的に体を鍛える活動。
- 体力テスト:96の測定項目中、49項目で都平均超。筋力、敏捷性や跳躍力、瞬発力等の体の使い方に課題。
→体育学習は年間指導計画に体作りの運動等を取り入れ指導(校内研究)。健康の保持増進。
- 「放課後子ども教室(週4日実施)」の参加
→373名登録(全校児童57.3%登録)。約120回開催(2月末)。約8100人超参加。平均利用者数約67人超。**高評価**
→学習アドバイザーによる児童への学習支援。
→児童の居場所作りの確保(継続)。

<成果・課題改善策>

●「放課後子ども教室」開催日確保(週4日実施)。放課後の児童の居場所確保。

●「レンジャーランド(各学期)」充実・発展。休み時間を活用し、楽しみながら体力向上を図る。

●開かれた学校の推進

→運動会、学校公開、道徳授業地区公開講座七小まつり等、直接参観、人数制限なし実施。

→全校朝会、安全指導、児童集会、授業等における「タブレット型学習用端末」「大型液晶モニター」「オンライン配信」等実施。

令和8年度 第七小学校の教育活動

- 新規事業7、継続・強化事業16を計画。
→第七小学校の教育活動が更に充実・発展するよう令和8年度も様々な教育活動を計画。
- 小中一貫教育・合同行事、キャリア教育の取組工夫、検討。
- 教科担任制、副担任制、小中共同研究等、義務教育学校開校に向けた取組。
- 「チーム七小」を合言葉に全教職員が一致団結して教育活動に取組。

令和8年度 第七小学校の教育活動動

<●:新規(令和8年度から) ◎:継続・強化(令和8年度も)>

- 1 居心地のよい・安心できる場所のある学校づくり…<◎:継続・強化>
- 2 いじめ防止に向けた取組……………<◎:継続・強化>
- 3 学力向上に向けた取組……………<◎:継続・強化>
- 4 ハヶ岳移動教室(第5学年)日程……………<●:新規>
- 5 日光移動教室(第6学年)の日程……………<●:新規>
- 6 学級編成……………<◎:継続・強化>
- 7 異学年交流の充実……………<●:新規>
- 8 授業日数・授業時数の確保……………<◎:継続・強化>
- 9 勤務時間の変更……………<●:新規>
- 10 生活時程の見直し……………<●:新規>
- 11 小中一貫教育・連携としての教育活動の推進……………<●:新規>
- 12 地域連携・人材活用……………<◎:継続・強化>
- 13 通知表について……………<●:新規>
- 14 漢字検定の実施……………<◎:継続・強化>
- 15 ぐんぐんタイムの充実……………<◎:継続・強化>
- 16 給食回数の確保……………<◎:継続・強化>
- 17 放課後の子供の居場所づくり……………<◎:継続・強化>
- 18 英語活動の充実……………<◎:継続・強化>
- 19 放課後算数の充実……………<◎:継続・強化>
- 20 七小レガシーの推進・充実……………<◎:継続・強化>
- 21 地域運営学校としての充実……………<◎:継続・強化>
- 22 副担任制・教科担任制の導入……………<◎:継続・強化>
- 23 特別支援教室教育の推進……………<◎:継続・強化>